

## 有機EL + 深山和紙 = あんどん

### 米沢の企業研究会が開発

有機エレクトロルミネッセンスで550台を限定販売する。

(EL) 照明の普及に取り組み米沢市の企業でつくる「有機EL照明実用化研究会」は、山形県白鷹町特産の深山和紙を組み合わせたあんどん型照明「YUKI ANDON」(ゆき・あんどん)を開発した。11月13日から山形県内の小売店や量販店

### 限定550台販売

シールドは高さ28センチ、幅、奥行き9・8センチ。装着する有機ELパネルは1枚でリチウムイオン電池内蔵。持ち運べて、連続2・5時間の点灯が可能。充電はUSBケーブルを使う。間接照明の活用を想定。明るさは、ろうそくのような揺らぎ点灯など3段階に切り替えられる。

有機ELパネルは、東北パイオニア米沢事業所の製品を使用。シールドのデザインは無地のほか花笠などの絵柄も用意する。研究会の和田宏代表は「地元企業の連携で有機EL照明の量産化を進める」と話した。

連絡先は、商品の組み立て製造を担当するタカハタ電子02338(36)0013。

有機ELパネルと深山和紙を組み合わせた「YUKI ANDON」

